

国の代表の方と挨拶を交わされました。祭りに参加後、島の「夢」振の方々との打合せ、そして懇親会を行いました。15日は、午

前中より闘牛大会で迫力があり、後からは本祭が行われ、島ワレ10組の取り合わせがあり、全島一優勝旗争奪戦も行われ大福環ツクフェスティバル、第2回ワイド節パフォーマンスコンテスト、

ワイドライブが行われました。コンテストでは徳之島闘牛太鼓チームが優勝、2位が舞遊会、3位が徳之島高校音楽部でした。

島思いの集団で、校区ごと或いは集落単位の任意団体であるのに対し、NPO法人の「夢」振は、具体的なテーマを持ち、全島的な視点で島のために役立ちたいという、ボランティア精神旺盛な島思いの人たちの集まりである。郷友会活動が年2〜3回程度の集まりであるのに対し、NPOはもっと多くの時間と労力、忙しくて活動に参加できない人は浄財面で、あるいは知恵やアイデア等で島のために貢献しようという気持ちの人たちが中心になっているグループと云ってよいであろう。



第2回徳之島ワイドまつり寄付者

- 二万円 村岡清男
- 一万円 本園金盛 雪山渥美 諏訪守正 横田捷宏 上野大
- 堀江淳一 恵茂一 松田健一
- 五千円 定久文三 松村 久 幸田晋典
- 古田哲男 益満友忠 宮原たつ子

合計13万円

第2回徳之島ワイド祭り参加者

- 徳田昌則、村岡清男、松村 久、丸山未光、佐々木繁幸、高橋 弘、市村 康、徳山泰夫、住原正宏、定久文三、笠原信光、元山久美子、千葉タズエ、横田かよ、横田柚果

「夢」の実現に感動

日本花の会 奈良支部長 益田宗児 (関西天城中央会 顧問)

「夢」振だより第四号拝読しました。NPO法人目指しての活動に感動しました。故郷を忘れず、愛郷無限の心は愛国心に繋がる活動だと思えます。今日の日本人に一番欠落したものを

こちらでも、日本花の会のご支援を戴き、「龍田・三室山」を古代の桜の名所復活を目指して会を立ち上げ、桜六百本を植樹いたしました。過去5年間、島へ毎年百本の苗木を贈り、五百本達成ですが、生育管理状況が不明で、もどか

良斑鳩の郷よりエールを送ります。

しさがありません。この度はお世話になっていてる地元自治会と協力して自らが桜守りとして活動できる喜びを体験しております。五年後、十年後には花見が楽しめる、三百余名の会員一同張り切っております。こちらにもNPO法人目指して頑張ります。



NPO法人化で、
先ず一歩前進を!

村岡清男

徳之島「夢」振興会議が設立時に計画したとおり、NPO法人化をしようとしていることは大変喜ばしい限りである。法人化をするというのは、任意団体とは異なる団体になるということであり、一定の具体的な目的をもった公的な団体になるということである。法的な規制を受けるなど少々堅苦しさはあるが、社会的な責任を全うする団体として認知され、評価される。郷友会が親睦を中心とした、

「夢」振が掲げた当面の事業テーマは、①島の花いっぱい運動を応援する。②島の特産品をヤマトにPRし、販促に協力する。③島の観光開発発展に知恵を出し協力する。④島関係のコンサル活動で島発展に協力するの4点である。

年間500万円程度の予算規模でスタートするが、当初はあまり無理をせず、先ずは出来ることから始めて、明るい夢のあるNPOグループづくりに努めて欲しいと思っている。新体制